

軽防協ニュース速報 号外

2011年7月27日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

オーストラリアにおけるヘンドラウイルス感染症の発生について

オーストラリアで本年6月末から、ヘンドラウイルス感染症（馬モルビリウイルス肺炎）の発生が確認されています。ICCからの情報によると、7月24日の時点で、クイーンズランド州で10頭（8カ所）、ニューサウスウェールズ州で4頭（3ヶ所）が、感染により死亡または殺処分となっています。感染馬に接触した可能性のある馬については、経過観察中です。

現在のところヒトへの感染は確認されていませんが、感染馬に接触した可能性のあるヒトについても、経過観察中です。

ヘンドラウイルス感染症は1994年にブリスベン郊外で初めて発生が確認され、その当時は14頭が死亡し、調教師も死亡しています。その後も散発的に発生が確認され、これまでに7人の感染（内4名は死亡）が確認されています。

自然宿主はオーストラリアに生息するオオコウモリであり、オオコウモリ→ウマ、ウマ→ヒトの感染は確認されていますが、ウマ⇄ウマ、ヒト⇄ヒトの感染は確認されていません。

ヘンドラウイルス感染症が国内の馬群に侵入する可能性は極めて低いと考えられますが、ヒトが発生地域に渡航する場合は注意が必要です。

【参考】厚生労働省検疫所 HP

<http://www.forth.go.jp/topics/2011/07111309.html>